

# 私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会  
(事務局：全国私立学校教職員組合)  
No.8 2020年9月11日(金)

8月30日に「2020年度私学助成全国署名 意思統一集会」が「全国私学助成をすすめる会」の主催で開催され、全国23都道府県から76人(父母10都道府県16人、教職員22都道府県60人)うち実参加21人、カワイイ参加55名)が参加しました。この集會を皮切りに各地で今年度の私学助成運動がスタートしています。

## 神奈川「学費ホットライン」事前到大評判に

**9/13** 日曜日神奈川では、神奈川県私学助成をすすめる会が主催し、午前中「スタート集会」を開催し2020年度の私学助成署名運動をスタートさせます。そしてその午後13:00~17:00の4時間、「2020学費ホットライン」を開設します。コロナ禍により県中高協会主催の「全私学展」が中止となりました。この会場には、県私学振興課の担当官も参加する「学費支援相談コーナー」も設置されますが、それがなくなったままです。神奈川私教連は「学費相談の場がなくなったのなら、代わりに私たちがやる!!」とこの「学費ホットライン」を方針化してこの日の設定としました。私学助成署名のスタートにふさわしい企画です。

●私立高校の学費に関する相談受け付け 新型コロナの感染拡大による、私立高校の入学金や学費などの悩みについて、電話で無料相談に応じる「2020学費ホットライン」が13日に開かれる。神奈川県私学教職員組合連合の主催で、「授業料補助制度」の手続きについても相談に応じるといふ。午後1~5時に、フリーダイヤル(0120-007-086)へ。



お知らせ

**9/8** の晩にマスコミ各社へ「開設」のファックスを送った処、翌9/9、朝日新聞から問い合わせがあり、9/10朝刊神奈川面で「お知らせ欄」12行の告知記事が掲載されました。すると、そのフリーダイヤルに9/10には電話が入りました。また、それ以外にも、公立中学校に送った「案内」が拡がったようで、ある塾がTwitterでこの「学費ホットライン」を紹介しました。(教職員組合主催という事にも触れて) そのTwitterを見た方からも電話が入りました。13日当日には朝日新聞が取材に入ることになっています。

さらに**東京新聞から**「質問がある」と電話が入りました。8日送付の案内FAXに「東京・埼玉では私立学校に通う生徒の半数以上が授業料無償になっているにも関わらず、神奈川では半数に達しません」と記されているが、「①どうしてか ②どの資料からわかるか ③神奈川は所得が高い世帯が多いのか」の質問の内容でした。東京新聞がこの点を掘り下げて記事に仕上げれば、神奈川の学費減免補助の争点が世論化されます。

各都道府県においても「学費ホットライン」のとりくみは、この秋の運動に火を点けそうです。

## 対県要請 各地でぞくぞく実施

新型コロナウイルスは、「集まる」ことを阻害していますが、各地の「私学助成をすすめる会」はそれに負けずに様々な工夫を凝らしながら、対県要請を実施しています。今年はキャラバンという形式、8月期という時期には拘らず、全都道府県で対県要請を行うことになっています。7/29青森、7/30長野、8/7山口・埼玉、8/8神奈川、8/17兵庫、8/19広島、8/25佐賀、8/26富山、9/2福井、9/8石川・熊本で実施されています。

神奈川、兵庫、広島、佐賀、富山、福井では父母も参加しています。兵庫では神戸弘陵高校育友会の会長さんが参加。次年度の県制度の拡充については何ひとつ触れない県の姿勢に怒りも露わにされ、私学助成運動での奮闘の決意を強められたそうです。

北陸ブロックでは、「キャラバン」形式は採らず、各県の対県要請に他県が参加する形でとりくんでいます。近隣の制度状況と比較して県を包囲する意味からも重要なとりくみです。

今後、9/15には岩手・新潟で要請行動が予定されています。各県も予算編成までに設定しましょう!!

**めざそう全国で400校!!** (全国私学の約30%)

### 「9月末学費滞納調査」に注力し、私学の学費実態を世論化しよう

今年の「9月末学費滞納調査」は2つの意味で重要です。ひとつは、コロナ禍による経済停滞の状況が、私学の学費負担に与えている影響が現れる時期という点です。大学生の学費問題が取り沙汰されていますが、高校生においても私学の高校生は同様影響が出てくるのが予想されます。ふたつは、就学支援金拡充と県独自制度拡充の影響が現れてくる可能性がある点です。

マスコミの注目は必至です。「すすめる会」未参加校も含め結果を集め発信しましょう。「私学の無償化」は折り返し点です。そのことを発信し子どもたちの学ぶ権利を守りましょう!!